

農大だより

1年生川まつりボランティア 7月25日

7月25日(金)、諫早川まつりが本明川周辺で行われ、1年生28名が灯ろう設置のボランティア活動に参加しました。蒸し暑い中で学生たちはメジャーで測りながら800個の灯ろうを1個ずつ設置しました。20時のサイレンの合図で、ろうそくに火をつけ完成させました。幻想的な風景に感動し、みんなで花火を鑑賞してから後片付けをしました。



メジャーで測りながら灯ろうを設置



きれいに完成した灯ろう

2年生北海道研修 7月7日～11日

7月7日(月)～7月11日(金)の日程で、2年生39名が国内研修(北海道研修)を行いました。内容は2泊3日のファームステイや各学科の学習内容に関連する施設の見学・体験を行いました。長崎にはない大規模な農業経営や大自然を満喫することができました。また、札幌市内では大倉山ジャンプ競技場を見学するなど北海道の歴史や文化に触れ、楽しい思い出がたくさんできました。



ランペダー畑の前で



花きコースの研修先で



ファームステイ解散式



果樹コースの研修先で



野菜コースの研修先で



畜産学科の研修先で

ホームページにも最新情報満載！！
URL : <http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/noudai/index.html>
E-mail : noudai@pref.nagasaki.lg.jp

農大カレッジ 7月12日～13日

7月12日(土)・13日(日)の1泊2日の日程で、県内の高校生を対象に農大体験カレッジを実施しました。参加生徒は男子13名、女子2名の15名で、保護者4名を合わせて19名の参加がありました。15名の生徒のうち7名が寮での宿泊体験もしました。

1日目は、希望する学科・コースに分かれて実習体験を行いました。夜には飛雲寮の食堂で、グループに分かれて農大の1年生と交流を行いました。学生から学校や寮での生活について直接、話を聞くことができ有意義な時間となりました。

2日目は研修部の車庫前でトラクターの体験試乗を行いました。学科・コースの貴重な体験や寮生活も経験でき、農大をより深く知ってもらう機会となりました。



野菜コース「圃場で収穫体験」



花きコース「実験棟内で」



果樹コース「桃の収穫体験！」



畜産学科「アイスクリーム作りに挑戦！」



研修部「車庫前でのトラクター研修！」



飛雲寮で1年生との交流会

農大体験カレッジに参加した生徒の感想

○2日間充実していました。1日目は牛のことについていろいろなことを知ることができたので良かったです。アイスクリームも美味しかったです。2日目は乗ったことがない農業機械に乗ることができて非常に貴重な体験でした。

○寮の生活を体験出来てとてもよかった。

○畜舎はオープンキャンパスでは行けなかったの、この学校への進学を考える良い体験ができました。

○農大に進学したい気持ちが大きくなりました。入学できるように頑張って勉強します。

○実際に実習や宿泊の体験をしてみて、今後のことについて考える良い機会となった。寮について詳しく知ることができて良かった。

○農業大学校がどのようなことを行っているのか理解できてよかった。将来のことについて深く考えることができた。

発行日 令和7年10月24日 Vol. 2
発行者 長崎県立農業大学校
所在地 〒854-0062 諫早市小船越町3171
TEL 0957-26-1016 FAX 0957-25-3871

九州地区親善体育大会 9月11日～12日

九州地区農業大学校親善体育大会が9月11日(木)・12日(金)の2日間、長崎県立総合体育館を中心に九州8県、学生565名、関係職員93名の参加で8競技が行われました。

本校からは6競技に67名の学生が参加しましたが、加えて本年度は長崎県が当番県ということもあり、準備から運営まで学生会を中心に行いました。各県の皆さんのご協力のお陰で、大きな事故もなくスムーズな大会運営を行うことができました。この親善体育大会に向け毎日練習に励んだ部もあり、有意義な素晴らしい大会となりました。

どの競技も他県との親睦を深めながら、随所に白熱したプレーが見られました。楽しい思い出がたくさんできた二日間でした。いい思い出をありがとうございました。

本校の試合結果 準優勝……バレーボール



準優勝したバレーボール



3人で頑張った卓球



5人で頑張ったバスケット



少数精鋭のバド女子



決勝トーナメント進出 バド男子



閉会式で挨拶をする川尻会長



長崎農大全員で記念撮影

九州自治会等リーダー研修会

6月24日・25日

九州地区農業大学校自治会等リーダー研修会が6月24日(火)・25日(水)に佐賀県立北山少年自然の家で行われました。この研修は毎年、各県持ち回りで行われ、今年佐賀県が担当でした。研修目的は「九州各県の農業大学校自治会等のリーダーが一堂に会し、学生自治会活動の活性化等について意見交換や学習活動を行うことで、学生間の交流を深めるとともにリーダーシップの醸成を図るもの」です。各県から自治会リーダー37名(学生)と指導・引率職員14名、合計51名の参加がありました。本校から川尻琉大朗会長、永尾颯大副会長、山下柚季副会長、山口隼人副会長、烏山助教教授の5名が参加しました。

1日目は開会行事、各学校の概要紹介、グループディスカッションが行われました。グループは各県バラバラで5～6名の班で編成され、テーマは「農業大学校での農業の魅力発信と仲間づくり」でした。

2日目は前日にグループディスカッションで話し合った内容を発表しました。2日間寝食を共にしたことで、農業にかかわる仲間としての意識が高まり、コミュニケーションも自然に増えて交流が深まりました。



道の駅 大和



本校の紹介をする学生



グループディスカッション会場



テーマについて意見を出し合う



みんなで楽しい夕食

【参加した学生の感想】



参加者全員で記念写真

- ◎ 今回の研修は、自分に足りてないところを再確認できて、とても良い機会だった。これからの学校生活でこれらを補えるように頑張っていきたい。
- ◎ リーダーシップについて深く考える貴重な機会となりました。他県の学生と意見を交えることで、自校の改善すべき点や他校を見習うべき点が多く見付き、とても良い機会だと思いました。
- ◎ 研修会に参加して、とても良い会だなと思いました。ディスカッションではあまり話せず、他県の学生が積極的に話をしてきたので自分も話さないといけないと感じ、話すようになった。自分の苦手なところをたくさん克服することができ、将来に活かすことができる良い機会となりました。
- ◎ 各県の方と名刺交換をしましたが、自分の常識のなさに気づきました。各県の方は、丁寧に学校名、役職、名前を言って最後に「よろしくお願いたします。」と言って渡してくださったが、何も知らなかったのもとても社会勉強になりました。

高校職員対象オープンキャンパス

8月18日

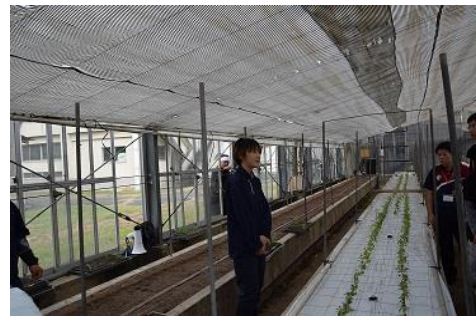
8月18日(月)に高校の先生方を対象としたオープンキャンパスを実施しました。この行事は隔年で実施し、本年度は県内から9名の参加がありました。

学校概要説明の後、各施設の見学を行いました。各施設では各コースの学生より施設の説明や農大に進学した理由、寮の生活などの話がありました。また、学生が生活している飛雲寮の見学も行い、学生が実際に食べている昼食も試食しました。

参加した高校職員は、学生の生の声が聞けて良かったとか、農大に入って学生が成長していることに感動した、寮内を実際に見学出来て良かったなどの感想がありました。



施設の説明をする野菜コースの学生



花きコースについて説明する学生



農大の様子を話す果樹コースの学生



飛雲寮で昼食も体験しました

【参加した職員の感想】

- ・農業高校に赴任後、3年生との面接指導の時に「農業大学校」というものを知りましたが、どのような学校なのかあまり知らなかったで、今回のオープンキャンパスで知ることができ、とても良かったなと思いました。生徒への進路指導で活かしていきたいです。
- ・全寮制でより細かな実践教育に力を入れていることが十分に理解でき、今回のオープンキャンパスを通じて、是非他の先生方や生徒に紹介したいと思いました。
- ・実際に施設を見学させていただくことができ、学生さんたちの声を聞くことができたのが良かったです。それぞれの学生さんが目的意識をもって、日々学ばれているのだということがよく伝わりました。生徒に伝えたいと思います。
- ・5年ほど前にも参加させていただきましたが、参加しないとわからないことも多く、とても有意義でした。1カ月早く開催していただけたら三者面談でもっと話をできると思います。
- ・農大・進路担当ではありますが、今回参加したことで、私自身が益々農大に興味・関心を持つことができました。受験対策、寮生活、進路について詳しくご説明いただいたことで、今後もっと具体的に本校生徒へ農大の魅力を伝えていけそうです。高校教職員の初任者研修の1つに今回のオープンキャンパスを組み込んでみてはどうかと思いました。
- ・初めて参加しました。農業科学科2年の担任をしているので、今後の進路指導に活かしていきます。
- ・暑い中、またご多忙のところ、対応いただきありがとうございました。いただいた情報、目にしたものを自分の中で消化し、生徒への進路指導に活かして参ります。
- ・広大な敷地や学生さんたちの作業の様子を拝見し、非常に魅力ある学校だと感じました。

学生会役員引継ぎ式

9月10日

学生会役員引継ぎ式が9月10日(水)に第1教室で行われました。まず、川尻琉大朗会長より「皆様のご協力により会長を無事に務めることができました。ありがとうございました。これから新しい役員に引き継ぎますが、新会長を中心に学生会を盛り上げて欲しい。」とあいさつがありました。その後、旧役員一人一人から退任のあいさつがあり、会場からは、ねぎらいの大きな拍手がありました。

新役員について新会長候補の大場汰駕君から提案がなされ、全会一致で承認されました。新会長に承認された大場君から「先輩方が築いてこられた学生会の伝統を、さらに発展できるように頑張ります。」と力強いあいさつがありました。その後に、酒井校長より旧役員に対するねぎらいと新役員に対する激励の言葉がありました。新役員の任期は令和7年9月引継ぎ式から令和8年9月の引継ぎ式までとなります。新役員は以下の通りです。



挨拶をする川尻会長



退任の挨拶をする役員



新学生会役員のメンバー



就任の挨拶をする大場 新会長

新学生会役員

会 長	大場 汰駕
副会長	谷崎 遼翔
〃	横田 野乃
〃	橋本和佳奈
書 記	山口 由奈
会 計	貞松 智宏
監 事	喜多 伊織
生活委員	前田 大和
文化委員	古賀 純太
防火安全	高柳 善州



学生会長 大場君



副会長兼男子寮長 谷崎君



副会長兼女子寮長 横田さん



副会長 橋本さん

野菜コース



園田 颯太
(島原高卒) 島原市

「メロンの品種比較試験について」

「ソナタ」「ヴェロッサ」「ヴェルダ」「セイヌ」「ナポリ」の5品種について生育や収量の比較調査をしています。



田崎 孝太
(長崎日大(既)卒) 諫早市

「いちごの高設栽培における『前作残渣あり』での栽培の検討」

前作の残渣を残したまま新しい株を植えた場合、生育にどのような影響を及ぼすのか調査しています。



中島 聡哲
(諫早農高卒) 長崎市

「マルチ資材の違いがソラマメ栽培に及ぼす影響」

黒・銀マルチを用いてソラマメ栽培を行い収量を調査しています。また銀テープによる害虫の忌避効果についても検討しました。



水頭 昊汰
(諫早農高卒) 諫早市

「アスパラガスの高畝と普通畝栽培の比較」

アスパラガス栽培において高畝は作業しやすく効率的だが収量や成長を踏まえても効率が良いのかを比較しています。

卒論テーマ特集号～その2～



水本 伯邑
(大村城南高卒) 大村市

「ごぼうの品種比較とリン酸成分が生育に及ぼす影響」

ごぼうの長根と短根種の生育の違いや、リン酸成分がごぼうの生育にどのような影響を与えるかについて調査しています。



森本 翔真
(小浜高卒) 南島原市

「パプリカにおけるマルチの違いでの生育・収量、病虫害発生の違いについて」

「ミラー」「シルバー」「白黒」の3種類のマルチで生育、収量、病虫害の発生状況を比較、調査しています。



山口溜ノ介
(諫早農高卒) 諫早市

「だいこんでの基肥、品種の違いで発生する収量差について」

基肥・品種の違いにより、どの程度、収量差が発生するのか調査しています。



吉本 蓮
(諫早農高卒) 雲仙市

「ブロッコリーの周年栽培による収量の変化」

1年を通してどの時期での栽培が高品質で多くの収量を得ることができるのか調査しています。

果樹コース



今里 圭吾
(大村城南高卒) 東彼杵町

「早生モモの早期摘果による大玉生産技術の検討」

早生モモ「ちよひめ」「日川白鳳」を供試して早期摘果による大玉果実の生産を目指します。試験は、結果枝の長さ別に果実の肥大や品質等を検討しています。



中村 天音
(島原中央高卒) 島原市

「イチジクの品質向上のための結果枝配置数と、光反射シートの被覆の検討」

大好きなイチジクを高品質栽培するための、効果的な結果枝の配置数や光反射シートの有効性を検討しています。本活動を進路に役立てたいと思います。



原 佑太
(諫早農高卒) 諫早市

「1結果枝2房着房させた『巨峰』に対するアブシシン酸含有液剤の着色促進効果」

樹勢が強い「巨峰」樹に対して、1結果枝に2果房着果させた果房へ、アブシシン酸含有液剤を散布することで、着色が向上できないか検討しています。



畜産学科



一瀬 剛毅
(西彼農高卒) 時津町

「豚用キャリパー等を用いた母豚のボディコンディション管理」

繁殖母豚の子豚生産成績を最大限に発揮するために、適正なボディコンディションとなるようキャリパー等を用いた効率的な管理を検証しています。



佐藤 聖大
(諫早農高卒) 大村市

「経産牛肥育における月齢の違いが出荷成績に及ぼす影響」

和牛の経産肥育において、月齢が異なる経産牛2頭を6ヵ月間肥育して、出荷した場合の増体及び枝肉成績等の相違について調査をしています。



白石 恵夢
(北松農高卒) 平戸市

「サイレージを使用した繁殖雌牛の育成」

実家の平戸市大島村では、ほとんど乾草は購入せず、自給のサイレージで粗飼料をまかなっています。このため、サイレージ給与主体でより良い繁殖雌牛の育成に挑戦しています。



徳永 琢真
(島原農高卒) 島原市

「バナナ成分が含まれた人工乳が哺乳子牛の発育に及ぼす影響について」

発育良好な子牛育成のため、哺乳期間中の下痢対策として効果があるとされるバナナ成分を含んだ人工乳を給与し、哺乳子牛の発育に及ぼす影響を調査しています。



松山 勇斗
(北松農高卒) 平戸市

「出生子牛の体重増加を目指した増飼いの検討」

出生子牛が大きいとその後の発育も良好といわれています。このため、出生子牛の体重増加を目指して母牛の増飼いの検討を行っています。



森高 駿
(諫早農高卒) 諫早市

「スーダングラスにおける窒素肥料量の低減が収量やコストに及ぼす影響」

肥料価格は他の資材同様に高止まりしていることから、窒素肥料量を抑制して、収量やコストへの影響を調査しています。



山口 隼人
(五島海陽高卒) 五島市

「和牛肥育における発酵飼料給与が肉質等に及ぼす効果」

去勢和牛の短期肥育(26ヵ月齢)において、肥育全期間を通じた発酵飼料の添加が肉質等に及ぼす効果について調査をしています。



～入学試験の案内～

出願資格

高等学校を卒業した者、高等学校を令和8年3月卒業見込の者または、高等学校卒業と同等以上の学力を有すると知事が認めた者。(年齢制限はありません)

1次募集

出願期間

令和7年10月24日(金)～11月14日(金)

試験日時

令和7年12月5日(金) 9:00～15:00

試験科目

(必須) 現代の国語・言語文化、数学Ⅰ
(選択) 生物基礎、化学基礎、農業から1科目選択
※農業は、園芸、畜産 どちらか選択

集団討論、個人面接

2次募集

※充足次第では実施しない場合もあります。

出願期間

令和8年 2月 6日(金)～ 2月20日(金)

試験日時

令和8年 3月 4日(水) 9:00～15:00

試験科目

(必須) 小論文(800字程度)、数学Ⅰ
集団討論、個人面接

●出願は、住所を管轄する各振興局農林水産部が窓口です。

お問い合わせは農業大学校教務課へ
電話：0957-26-1016

